

優 秀 賞

水への感謝

茨城大学教育学部附属中学校

一年 大 高 ひ ろ の

皆さんが毎日使っている水は、どれだけ貴重なものか知っていますか。水を大切に作る工夫をしますか。

世界には、十四億立方キロメートルの水がありませんが、私たちが飲める水はそのうちの二・五%しかありません。また、きれいな水があっても、全世界で確保することは簡単ではありません。そこで、きれいな水を利用できる私たちは水を大切にし、感謝しながら使う必要があると思います。

水道からきれいで、安全な水が出てくることは、日本に住む私たちにとっては当たり前のことだと思っ
ている人が多いのではないのでしょうか。

私の従妹はマレーシアに住んでいます。従妹が日

本に帰ってきた時、私が水道の水を飲んでいたらとても驚いていました。私が従妹に水道の水は安全だということ伝えたら、嬉しそうに水を飲み始めました。水道の水を飲めることは従妹にとって貴重なことでした。私はその時に、改めて水道水を飲むことができない国があると実感しました。

従妹は水道水を飲むことができないため、水を買っていますが、世界には安全な水さえも手に入れることができない人たちが六億人以上もいます。このような人たちは、池や川、湖、整備されていない井戸などのきれいとは言いがたい水を汲み、飲んでいきます。そのうえ、池や川などの水源はとても遠く、炎天下の砂漠を一日中歩いてもわずかな水しか手に入りません。

私は小学生の頃に、貧しい国に水道を設置し、安全な水を使ってもらおうという内容のテレビを見ました。日本の人々が海外に渡り、貧しい国に水道を設置し、毎日水を汲んでいた子どもたちが笑顔で水道の水を使っていました。しかし、半年後には水道から茶色い水が出てくるようになりました。水道が設

置された後、管理が行われず、水道のサビが水と混ざって出てくるようになってしまったのです。管理されていない水道の水を飲んだ子どもは病気にかかりました。世界の水問題は世界が団結し、全世界で解決する他ありません。

では、きれいで安全な水を利用できる私たちは、何をすればよいのでしょうか。

私たち一人ひとりが水を大切にするには、水を上手に使うことが大切だと思います。みなさんは、「節水」という言葉を知っていますよね。近年では、節水型機器の需要が高まっており、昔よりも簡単に節水できるようになりました。また、風呂の残り湯で洗濯をしたり、ものを洗うときはため洗いをしたりと、身の回りで節水ができる機会はたくさんあります。私は、節水だけでなく水を汚さないことも水を大切にする工夫だと考えます。例えば、料理で使った油を紙等で拭き、油を流さないことや、調理くずをくずとりネットで回収することなどです。水を大切にするには、少し手間もかかりますが、多くの生物や資源を傷つけることなく、水に感謝の気持ち

を表すことができます。

水はとても価値のある貴重な資源です。その大切な資源が手に入らない人たちがいる中で、私たちは水をふんだんに使ってしまうています。水を使うことのできる私たちが水を大切にしなければ、解決する問題も解決しません。そこで、まずは、生活に欠かせない水に感謝の心を持ち、大切にする工夫をしましょう。感謝は人に対するだけのものではないので、水への感謝は水を大切にする第一歩です。水への感謝することから始めませんか。